

# 原発いらない栃木の会 news

vol.1 2011.10

## さようなら原発 栃木県集会

9月4日ルポライターの鎌田慧氏・環境問題活動家の杉山隆氏をお招きして

「さようなら原発とちぎ県集会」が開かれました。

始めに米田会長から「野田新政権は原発問題においてあまり期待できない。

地方自治は直接民主主義なので私たち住民が自治体に直接働きかけるなどの運動を通して、安心できる状況をつくろう」という挨拶がありました。

### 鎌田慧氏講演

まず、9月19日の「さようなら原発5万人集会」について。これは大江健三郎さん落合恵子さん内橋克人さんなどと呼びかけ人となり、市民の力で政府の原子力政策を変えていこうとするアクションです。

原発で電力を得ていたのだから、都市住民にも責任があるというような考えがありますが、責任は電力会社と原発推進政策をとってきた従来の政府にあります。責任転嫁の議論



に惑わされず反対運動を強めて、脱原発にもっていきましよう。子供たちの未来を閉ざさないように、ぜひとも多くのみなさんに参加していただきたいと思います。

原発設置は、根本的な嘘に基づいています。「安全だ」と言い続けていますが、安全なんて嘘です。事故が起こると、「大した事故ではない」と嘘を言います。原発を受け入れる自治体の首長は、自主的な判断をしません。「国が安全だ」と言うから安全だ、というだけです。原発により地域に莫大な金が入ります。この金に釣られて自治体は原発の設置を認めます。一基の原発で5000億円の建設費がかかります。そして、地元への交付金が10年出ます。合計すると500億円くらい

になります。しかしこの金は危険だから支払われるのです。原発で地域が発展するような幻想をふりまいていますが、原発で地域は発展しません。交付金が無くなると困るので、もう一基欲しいということになるのです。いわば依存症になってしまうのです。

原発が止まると経済活動が止まるようなことを言います。このように嘘と金にまみれた原発は、絶対に止めさせる！と市民が決意し、運動しなければなりません。

福島第1原発は6号機までしかありませんが、7号機、8号機の建設を熱心に進めようとしていたのが前双葉町の町長の岩本忠夫さんです。彼はもともとは原発反対派で、私も取材したことがあります。福島県は木村守江知事が原発を推進して、岩本さんは県議として強く反対していました。そのために県議を締め出され、双葉町長になったのです。しかし、双葉町長になってからどのようなことがあったのか知りませんが、原発賛成派になってしまいました。岩本さんは原発事故後、福島に避難をしていて、避難先で慢性腎不全で亡くなりました。知る人の話では、テレビを見ながら、テーブルを叩いていたということです。どんな思いだったのでしょうか。私にはリア王の悲劇に似ているように思います。

原発のあるところには、このような悲劇がたくさんあります。原発が作られるときは、例外なく反対運動が起こります。これに対して、建設派は切り崩しをかけてきます。原発のあるところは、この反対運動が敗れた土地なのであり、裏切りの歴史に満ち満ちたところなのです。

原発反対運動で勝利を取ったところも沢山ありますが、残念ながら、そうした場所は外見からは分かりません。比較的最近では、新潟の巻原発の反対運動があります。ここでは予定地に町



有地が残っており、反対派が賛成派の町長をリコールで免職とし、住民投票で反対を決め、新しく選んだ町長が町有地を反対派に売って、東北電力の原発計画をつぶしたのです。

浪江町にも原発計画をつぶした反対運動がありました。東北電力は4基の原発を計画していましたが、浪江町棚塩地区の住民は計画を一切受け付けず、原発は建設されませんでした。浪江町民も今回の原発で避難しなければならなくなりましたが、もし原発が建設されていたら、さらに大きな事故になっていたことでしょう。

前福島県知事、佐藤栄佐久さんは、もともと原発賛成派でしたが、プルサーマルの安全性について疑問を抱きチェックを始めたところ、地検が収賄をデッチ上げ、知事の座をおわけてしまいました。ですから、佐藤さんは原子力安全保安院が経産省にあることを、「泥棒が警官をしているようなものだ」と手厳しく批判しています。このようないい加減なチェック体制は、他の国を笑えるようなものではありません。

原発事故後、最初に再稼働を名乗り出た玄海町長は、建設会社をやっている、社長は弟ですが、実質的にはつながっています。佐賀県知事は、電力会社の社長の息子です。

財務省、経産省の天下り先が電力会社であり、電力会社は大学に寄付をしています。労働組合が、被曝労働の問題を取り上げないのは、原発労働者が労働組合に入っていないような不安定な労働条件にある人たちだからです。このように、原発問題には利権をめぐる癒着の構図があるのです。

『10万年後の安全』という優れた映画があります。ぜひご覧になっていただきたい。ノルウェーで核廃棄物を地下に貯蔵するのに、どのようにするかを議論している様子を取めた映画です。核は10万年も保管しなければならないのですが、文字が生まれてやっと5000年、それから現在までには読めない文字が出てきてしまったのに、10万年後までどうやって危険だと知らせられるかと問いかけています。

私たちは、50年後の子孫に、原発を残したと非難されるかもしれません。もう一度事故が起こらないように、脱原発の運動を広めていきましょう。

## 杉山隆氏講演

この後、下北で反原発の単独活動をしている、杉山隆一氏が、

太い芯の通った、この30数年の戦いを、ユーモアたっぷりに紹介してくださいました。一番打たれたのは、原発による金が人の心を荒廃させるという現実です。杉山氏の言葉を借りるなら、「もらったあぶく銭で、みんなギャンブルや飲み



代に使い、たいていは体を壊して死んでしまった。」一方の杉山氏は、正論を貫き、健康そのもの。しかし、ただ無暗に反対しているのではなく、情報を正確につかみ、常に客観的に事態の把握に努めているということでした。

その後の質疑応答では、鎌田氏、杉山氏、原発がそもそも絶対的に危険であり、地域の繁栄にも、人間の進歩にも結び付かないことを極めて明確に語ってくれました。そして、原発の輸出も止めるべきであること、なにより、核は兵器と結びついており、平和には相いれないものであることが明らかになりました。

報告 高際澄雄

## 放射線計測活動

放射線測定器を共同購入し独自の放射線量計測活動を行っています。

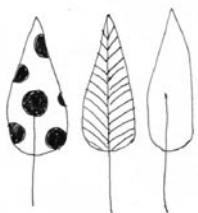
我が家の放射線量はどうかだろうか？心配ですね～！

公表される情報が不十分かつ信頼性に乏しい状況だけに、身の回りを自分たちで調べる事が大変重要です。より多くの地点で計測できれば地域的な細かい汚染状況がわかり防御態勢がとりやすくなります。

参加費用は共同購入費（2000円）とメンテナンス料（年1000円）です。

参加者間の情報交換、計測機械受渡しを円滑にするため、月1回ほど集まりをもち、各地域にホスト役を設置しています。多数の皆さんの参加をお願いします。

放射線計測活動 連絡先 明良佐藤 電話 080-3442-1976 e-mail akiyosisansan@yahoo.co.jp



電力も、  
自分で選び  
たいよう。



# 人・人・人 集まった！

## 9.19 東京明治公園に6万人

NO NUKES

### さようなら原発集会パレード

去る、9月19日、ノーベル賞作家の大江健三郎さんをはじめ9人の呼びかけで東京・明治公園にて行われた「さようなら原発5万人集会」に参加致しました。

集会には、福島県から駆けつけた1000人をはじめ、全国各地から市民団体・労働組合・個人参加者など、6万人が参加しました。

この他、会場に入りきれない人たちがJR千駄ヶ谷駅周辺に滞留した他、会場周辺 一帯にもあふれる状態でした。

日本の脱原発運動で、これだけ多くの人々が集まったのは初めてのことです。

集会では、呼びかけ人の大江健三郎さん、落合恵子さん、内橋克人さん、澤地久枝さんが、市民の力で脱原発を実現することを訴えました。

続いて、ドイツで脱原発をすすめた地球の友ドイツ代表のフーベルト・ヴァイガーさんがドイツ市民からの連帯のあいさつを發表し、

脱原発活動を続けている俳優の山本太郎さんが原発の一斉停止を訴えました。

最後に、「ヒロアクション福島原発40年実行委員会」の



武藤類子さんが、原発事故以降に福島の人々が体験した出来事と、福島の人々がこれからどこに向かおうとしているのかを語りました。

集会は1時間ほどで終わりましたが、その後の渋谷・原宿・新宿の3コースのデモ・パレードは、参加者多数のため、出発だけで2時間以上を要し、到達地点には夕暮れまでかかる行動となりました。

報告 小田祐二



原子力  
やめて  
想像力



9月10日午前11時半より、宇都宮市馬場町の二荒山神社前にて、脱原発1000万人署名活動をしました。栃木の会からは、弁護士4名を含む10数名が参加、約1時間30分の活動で多数の署名を頂くことができました。

30筆頂いた私がダントツで多かったということで、結果分析。あくまで私が頂いた中からの感想です。

まず署名をくださった方の男女比は、おおむね半々です。

年代的にもっともご協力頂けたのは、中高生でした。私が頂いたなかの8筆くらいがそうです。署名の最後に「頑張って下さい」というお声がけを頂いたのも、この年代でした。大人はとんでもないことをしてきてくれたな、上の世代のツケを払わされるのは堪らない、という抗議の声だと思います。



逆に難しいのは、20代から30代にかけての年代層だと思います。この層は、特に原発がどうということではなく、社会運動に対する警戒感があらわれがちな年代なのかもしれません。ただ、小さいお子様連れのお父様お母様の中には、お手荷物も大変なのにわざわざ足を留めてくださる方も何人かいらっしゃいました。

原発について自分はこう考える、というご見解をお話しくださりながら署名してくださる方も数人いらっしゃいました。既に他の活動に参加されていて、活動内容のご紹介かたがた署名してくださる方もいらっしゃいました。



弁護士ですから、街頭署名活動などの街宣活動はそれなりに経験がありますが、今回ほど市民の方々のご理解・ご協力を得やすいことは、ありませんでした。(取調べ可視化を求める署名活動の時など、確か1時間で3筆くらいだった・・・泣。)こうした草の根レベルの問題意識をさらに具体化させ、前に推し進めていけるよう、栃木の会としても一生懸命活動していきたいと思っています。

そういえば、カラーワイシャツに首からIDカードをぶら下げた男性達も何人も通りましたが、一様に怒ったように足早に去って行かれました。土曜日なのでそういう職種の人はいないと思いましたが、お仕事されてるんですね。お役所大変ですね。

ところで、今回私が多く署名を頂戴できたのは、きっとその数日前に関西に出張に行っていた影響です。デパートで店員さんたちから、関西ノリでほのぼのと押しまくられて買ってしまいましたので、ちょっと真似をしてみました。またやりましょう!

## イベント情報

### ☆ 映画 祝の島 上映会

◎ 10月29日(土) 小山市立文化センター小ホール

1回目 13:00~ 2回目 18:00~

15:00より向井雪子講演会

(チェルノブイリ子ども基金事務局長)

◎ 10月30日(日) 宇都宮とちぎ福祉プラザ・多目的ホール

1回目 10:00~ 2回目 13:00~ 3回目 15:00~

両日とも、ロビーにてD-Light「祝島」写真展開催します。

料金: 大人 .1000円、高校生 500円、中学生以下無料

(当日は300円増し)

お問い合わせ、ご予約は

メール [houril029@yahoo.co.jp](mailto:houril029@yahoo.co.jp)

電話 小山 080-3400-0343(佐通)

宇都宮 070-5011-1951(西山)

### ☆ とちぎ国際有機農業映画祭 2011 原発特集

ミツバチの羽音と地球の回転 他5作品上映

日時: 2011年11月26日(土) 10時~18時

会場: 栃木県佐野市中央公民館 住所 佐野市金井上町 2519

電話 0283-24-5771

上映作品: 「山のかなた」「子どもたちを放射能から守れ」

「源八おじさんとタマ」「隠された被曝労働」

「みえないばくだん」「ミツバチの羽音と地球の回転」

作品上映後、16時30分より鎌仲ひとみ氏講演

「放射能汚染をどう生き抜くか」

入場料: 前売り 1200円 再入場可 当日 1500円

※託児あり(有料一人500円・要予約)

問い合わせ: とちぎ国際有機農業映画祭実行委

電話 0283-22-8261 ファクス 0283-21-6935

主催: 有機農業ネットワークとちぎ

後援: 佐野市、佐野市教育委員会

### 会の活動にご協力お願いします

- ◎ 県内自治体に対する脱原発の請願・陳情などの働きかけ
- ◎ 県の再生エネルギー推進等の協議会への市民参加の申入れ
- ◎ 脱原発1000万人署名活動はまだまだ継続中です。
- ◎ 講演会学習会等の開催

発行 原発いらない栃木の会

事務局 〒320-0821 栃木県宇都宮市一条4丁目5番11号

大木一俊法律事務所 TEL028-636-0596/fax028-637-4886

☆ 新規会員を募集しています。